

一緒に開けよう！まちの未来へつづく

鹿嶋市議会だより



# とびら

No.89

(平成29年6月議会を掲載)

## 特集 鹿嶋陸上クラブ × 市議会



— CONTENTS —

特集 鹿嶋陸上クラブ×市議会	2・3	ページ
議会の構成	4・5	
6月議会の概要	6	
委員会の活動	8	
ここが知りたい！一般質問	10	
きかせて！あなたの夢	22	

# めざせトップアスリート!



## 鹿嶋陸上クラブ × 市議会

今回は、鹿嶋産業技術専門学院のグラウンドで練習に励んでいる鹿嶋陸上クラブの指導者の方に陸上競技の魅力や指導の苦労、また喜びについてお話を伺いました。

同クラブは結成3年目。陸上経験のある15人の方が子どもたちを指導しています。クラブのモットーは『一人一人の個性を伸ばし、自己の目標に挑戦!』。チームワークとメンタルを強化し、人間性豊かな心を持つ児童・生徒の育成を目指しています。



◆こんにちは、今日はよろしくお願ひします。

会員になっていている子どもたちがたくさんいらっしゃいますが、何人いますか?

三本松さん 小学校1年生から中学校3年生で127名います。市内だけでなく鹿行5市と香取市からも参加しています。

◆種目はどのようなものがありますか?

三本松さん 短距離・長距離の種目が中心。跳躍や投てき・ハードル等の種目もあります。結成から3年目で、まだ陸上競技の道具がそろっていないのが現状。

走ることは全てのスポーツの原点ですが、まずは、陸上競技人口を増やしていくための底辺づくりを大切に考えています。低学年の子どもたちはまだ体ができていないので、走ることは

基本を指導しています。

◆指導していて苦労や喜びは?



やまくち たかし 山口 貴司さん



もりした まさと 森下 正登さん



のぐち ていじ 野口 禎二さん



さんほんまつ よしお 三本松 義男さん



あがわ たけし  
小川 竹司さん



たかはし としお  
高橋 利男さん



やまざき こういち  
山崎 晃一さん



ひらの せいいち  
平野 清一さん



ゆみの ゆきえ  
弓野 幸恵さん

**高橋さん** 子どもたちと陸上を楽しんでいます。多くの人に、陸上の楽しさを知ってほしい。

**小川さん** 自分の健康づくりにも役立つと思います。子どもたちのタイムが良くなつていく姿を見ていると、自分の喜びのように感じます。

**山口さん** 子どもたちが成長していく様子を見るのが楽しみです。子どもたちは、自分自身を追い込み、壁を乗り越えることを楽しんでほしい。

**平野さん** 今年の4月から指導者として参加しているが、子どもたちにどう教えてたらよいか、常に学んでいる。

**弓野さん** 子どもたちの成長と記録の更新に喜びを感じている。また子どもたちと指導者の交流を深めた。

**野口さん** 陸上経験はないが、子どもたちが記録会などで記録を更新し、喜んで

いる笑顔を見られてうれしい。

**山崎さん** トップ選手とは異なり、発達過程の子どもたちを指導することは難しい。指導することで、子どもたちにスポーツ（陸上競技）の楽しさを知ってもらい、その延長で結果を出すことを指導者の皆さんと模索していきたい。

**三本松さん** 喜びは、練習で頑張っている子どもたちが上位入賞・自己記録を更新し、ともに喜びを分かち合えること。苦労は、十分に施設が整っていないこと。また、子どもたちを指導する上での接し方にも苦労している。

◆今の鹿嶋市に求めることは。

**森下さん** 鹿嶋市には、本格的に陸上競技ができる場所がない。鹿嶋陸上クラブの練習だけでなく、高校生や中学生も地区予選会場

がなく、千葉県や水戸市に行つて県東地区の大会を開催していると聞きます。

新しいグラウンドを建設することは困難なことだと思つたので、既存のグラウンドを整備していただけるようなサポートをお願いしたい。

**三本松さん** 鹿嶋市内の中学校には陸上競技部が1校もない。市の教育委員会は、ぜひこの実態を認識していただきたい。

◆最後に指導者の皆さんの夢は？

県内でトップ選手となれるような子どもたちを育てたい。そして、オリンピックなどの大きな大会で活躍してほしい。

子どもたちが陸上競技を続けていく中でまず県内で活躍し、関東・全国大会と活躍の場を広げ、いずれはオリンピックに出場してほしい。

**会員募集!**

**鹿嶋陸上クラブ**

走ることが好きな人、早く走りたいと思っている人、走る友達が欲しい人、とにかく運動したい人、参加してみませんか。

**日時** 毎週土曜日 午前11時～12時  
(7月～9月→午前9時～10時30分)

**場所** 鹿島産業技術専門学院 / グラウンド

**対象** 小学1年生から中学3年生までの児童・生徒

**年会費** 2,000円

**申込方法** Eメールで名前、性別、学校名、学年をお知らせください。

**申・問** 鹿嶋陸上クラブ・三本松さん TEL 090 (9816) 8218  
Eメール : sambom.y-j7000-run33@i.softbank.jp



5月11日に開催された平成29年第1回鹿嶋市議会臨時会で、新たに常任委員会などの構成が決まりました。

# 議会の構成が決定

議会改革への決意を新たに



議長  
池田 芳範

日頃より市民の皆様方には、市政発展のためご支援を賜り厚く感謝申し上げます。私は議長就任以来、議会の中立公正な職務遂行に努めるとともに、民主的及び効率的、そして透明性を議会運営の基本方針とし、なおかつ未来の発展のためには、「改革は議会から」を

テーマに掲げ、全議員一致のもと議会改革に取り組んできました。その第一歩として、議会改革推進特別委員会、政治倫理条例制定特別委員会、地方創生推進検討協議会を設置し、現在各委員長、部長を中心し、議論を深めているところです。ここで任期の折り返しに当たり、与えられた任期の中で議員一丸となり目標の議会改革を成し遂げたいと強く決意した次第です。今後とも皆様方のご支援をお願いいたします。



副議長  
西塚 保男

2019年の茨城国体、翌年の東京オリンピックで、本市はサッカー会場に選定され、全国、全世界に「鹿嶋」を発信するチャンスが巡ってきました。さて議会は、議会改革の旗印のもと多くの改革を進めています。議会広報委員会は広聴機能を加え、新たに広報広

聴委員会としてリニューアルし、機能強化部会では、審議過程においてより議論を深める仕組みを取入れました。また定数報酬部会も、残り1年を目前に定数報酬のあり方に関する議論を進めており、さらには政治倫理条例の制定についても特別委員会を設置し検討を重ねております。後期はこの改革をさらに前進させ、改革のDNAを後世に繋げることを使命に、残り2年間市民のための開かれた議会を目指し活動していきます。

## 総務生活委員会

政策企画部、総務部、市民生活部、出納室、監査委員事務局に関すること、また、他の委員会が担当しないことを審査・調査します。



副委員長 小松崎 敏紀



委員長 宇田 一男



委員 山口 哲秀



委員 立原 弘一



委員 田口 茂



委員 池田 芳範



委員 内田 政文

## 文教厚生委員会

健康福祉部と教育委員会に関する  
 ことを審査・調査します。



副委員長 池田 法子



委員長 栗林 京子



委員 川井 宏子



委員 佐藤 信成



委員 西塚 保男



委員 篠塚 洋三



委員 根崎 彰

## 都市経済委員会

経済振興部、都市整備部、農業  
 委員会に関することを審査・調  
 査します。



副委員長 菅谷 毅



委員長 小池 みよ子



委員 樋口 富士男



委員 出頭 克明



委員 河津 亨



委員 坂本 仙一



委員 飯塚 俊雄

### 予算決算常任委員会

委員長	篠塚 洋三
副委員長	山口 哲秀

\*委員は、議長を除く全議員です。

### 鹿嶋市監査委員

根崎 彰

### 広報広聴委員会

委員長	小池 みよ子
副委員長	樋口 富士男
委員	河津 亨
委員	佐藤 信成
委員	栗林 京子
委員	菅谷 毅
委員	川井 宏子
委員	小松崎 敏紀

### 鹿島臨海工業地帯開発協議会委員

議員	内田 政文
議員	田口 茂

### 茨城県後期高齢者医療広域連合議会

議員	根崎 彰
----	------

### 議会運営委員会

委員長	出頭 克明
副委員長	宇田 一男
委員	内田 政文
委員	立原 弘一
委員	河津 亨
委員	篠塚 洋三
委員	小池 みよ子
委員	山口 哲秀
委員	佐藤 信成
委員	栗林 京子

### 鹿行広域事務組合議会議員

議員	飯塚 俊雄
議員	小池 みよ子
議員	出頭 克明

### 議会改革推進特別委員会

委員長	佐藤 信成
副委員長	小松崎 敏紀

\*委員は、正副議長を除く全議員です。

### 政治倫理条例制定特別委員会

委員長	西塚 保男
副委員長	小松崎 敏紀
委員	田口 茂
委員	立原 弘一
委員	篠塚 洋三
委員	山口 哲秀
委員	出頭 克明
委員	佐藤 信成
委員	菅谷 毅

### 鹿島地方事務組合議会議員

議員	内田 政文
議員	坂本 仙一
議員	篠塚 洋三
議員	山口 哲秀
議員	宇田 一男



会期：平成 29 年 6 月 8 日～6 月 22 日

# 6 月議会の概要 — 17 議案・2 請願を議決 —

## 【議決結果】

### ◎市長提出議案

- [予 算] 3 件 原案可決 3 件 (全員賛成 3 件)
- [条 例] 3 件 原案可決 3 件 (全員賛成 3 件)
- [その他] 9 件 原案可決 9 件 (全員賛成 8 件、賛成多数 1 件)

### ◎議会提出議案

- [意見書] 2 件 原案可決 2 件 (全員賛成 1 件、賛成多数 1 件)

### ◎請願

- [請 願] 2 件 採 択 2 件 (全員賛成 1 件、賛成多数 1 件)

今定例会には、市長から予算 3 件、条例 3 件、その他 9 件の議案が提出され、議会からは 2 件の意見書が提出されました。また、2 件の請願が議会に提出されました。

概要は次のとおりです。

### ■議案第 43 号 市道路線の認定について

#### 【概要】

今回の市道路線の認定は、港ヶ丘一丁目地内の開発行為により帰属された道路 1 路線と、大字宮中地内の排水整備計画がある道路 1 路線を認定するものです。

#### 【委員会での審査】

都市経済委員会での審査では、主に、市道認定の基準、要望路線の整備の考え方について、質疑がありました。採決の結果、賛成多数で原案のとおり可決すべきものと決定しました。

#### 【本会議での審議】

都市経済委員会委員長からの報告の後、2 名の議員から質疑があり、市道の認定は寄附を受けてから行うべきであるとの意見がありました。

採決の結果、議案第 43 号は、賛成多数で原案のとおり可決されました。

### ■平成 29 年請願第 1 号 若い人も高齢者も安心できる年金制度を求める請願

#### 【概要】

平成 29 年請願第 1 号は、高齢者世帯の半数が年金収入だけで生活している現状に鑑み、「マクロ経済スライドを廃止し、年金制度改革関連法の新ルールは実施しないこと」、「全額国庫負担による最低保障年金制度を早急を実現すること」、「年金支給開始年齢の引き上げを行わないこと」、「年金の隔月支給を国際水準の毎月支給に改めること」について、地方自治法第 99 条の規定に基づき、国の関係機関への意見書の提出を求めるものです。

#### 【委員会での審査】

文教厚生委員会の審査では、願意妥当により採択すべきとの意見や将来世代への負担を避けるべきとの意見がありました。

委員間での討議の後、4 名の委員から、2 か月に 1

回の支給を毎月支給にすべきである、年金が削減されると将来の生活設計ができなくなるため現行制度を継続すべきである、現行制度を維持しつつ年金を給付すべきであるとの賛成討論がありました。

また、2 名の委員から国の財政見通しが不透明な中では慎重な給付はやむを得ない、子どもたちの世代の給付水準が下がることは避けるべきであるとの反対討論がありました。

採決の結果、平成 29 年請願第 1 号は、賛成多数により採択すべきものと決定しました。

#### 【本会議での審議】

文教厚生委員会委員長からの報告の後、採決を行い、賛成多数で平成 29 年請願第 1 号は採択されました。

# 議員賛否一覧表

賛成=○、反対=×、棄権=△、欠席=—

賛否が分かれた議案 と 議員(会派)の賛否結果	公明かしま			鹿嶋をわくわくさせる会		日本共産党 鹿嶋市議団		幹 会			是々非々の会		未来かしま					副議長		
	山口哲秀	樋口富士男	池田法子	出頭克明	佐藤信成	立原弘一	川井宏子	宇田二男	根崎 彰	菅谷 毅	河津 亨	田口 茂	篠塚洋三	飯塚俊雄	内田政文	坂本仙一	小池みよ子	栗林京子	小松崎敏紀	西塚保男
議案第 43 号 市道路線の認定について	○	○	○	×	×	×	×	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○
平成 29 年請願第 1 号 若い人も高齢者も安心できる年金制度を求める請願	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	×	○	×	○
意見書第 5 号 若い人も高齢者も安心できる年金制度の実現を求める意見書	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	×	×	○	×	○

※池田芳範議長は、採決に加わりません。

■平成 29 年請願第 2 号  
地方財政の充実・強化を求  
める意見書に関する請願書

## 【概要】

平成 29 年請願第 2 号は、今日、地方自治体の果たす役割が拡大しているにもかかわらず、地方財政をターゲットとした歳出削減の議論が加速していることから、必要な公共サービスが削減されることのないよう、地方財政の充実・強化を求め、地方自治法第 99 条に基づき、国の関係機関への意見書の提出を求めるものです。

## 【委員会での審査】

総務生活委員会での審査では、平成 29 年請願第 2 号は願意妥当であることから、全員賛成で採択すべきものと決定しました。

## 【本会議での審議】

総務生活委員会委員長からの報告の後、採決を行い、全員賛成で平成 29 年請願第 2 号は採択されました。

# 5月臨時会の概要

— 全ての議案に全員が賛成 —

5 月臨時会では、委員会の選任が任期満了に伴う委員長の報告 2 件、その他 1 件の議案が提出されました。

概要は次のとおりです。

## ■議案第 35 号 訴訟の和解について

### 【概要】

議案第 35 号は、鹿嶋市平井東部土地地区画整理組合の元事務員が、法律上の原因なくして退職金等の名目で受領し、利得した金員の返還を求めて、平成 25 年 6 月に水戸地方裁判所に提訴した不当利得返還請求事件について、金員全額の返還を認める同裁判所からの和解勧告を受け入れて和解するため、地方自治法第 96 条第 1 項の規定により、議会の議決を求めるものです。

## 【議決結果】

### ◎市長提出議案

【報告】 2 件 原案承認 2 件 (全員賛成 2 件)  
【その他】 1 件 原案可決 1 件 (全員賛成 1 件)

## 【本会議での審議】

議案第 35 号は、委員会での審査を省略したため、市長から議案説明を受けた後、すぐに採決を行いました。採決の結果、議案第 35 号は、全員賛成で原案のとおり可決されました。

## 予 算 決 算 常 任 委 員 会

### ホッキ貝料理コンテスト ・LED防犯灯整備予算を審査

予算決算常任委員会では、3件の議案を審査しました。

#### 主な質疑

■議案第36号 平成29年度鹿嶋市一般会計補正予算（第1号）

**問** 自治総合センターが行っているコミュニティ助成事業補助金制度の周知は、どのように行っているのか。

**答** 行政委員に配付している区・自治会の運営の手引きにその内容を掲載している。今後は、行政委員の定例会あるいは理事会の中で丁寧に説明していきたい。

**問** ホッキ貝は市内のどこで買うことができるのか。  
**答** ホッキ貝は、市内でもほとんど出回っていない。

いのが実状である。コンテスト参加希望者には、漁協の協力を得て、試作用のホッキ貝の提供を考えている。

**問** LED防犯灯への改修は、リースではなく購入で対応してはどうか。

**答** 購入では国の補助金が見込めないため、10年リースでの改修を考えている。リース期間満了後については、購入も含め、改めて検討したい。

討論はありませんでした。採決の結果、全ての議案について原案のとおり可決すべきであると決定しました。



▲市内に設置されたLED防犯灯

### 今後の鹿島港外港整備計画について 詳細な説明を

総務生活委員会では、2件の議案と1件の請願を審査しました。

#### 主な質疑

■議案第41号 新たに生じた土地の確認について  
■議案第42号 字の区域の変更について

**問** 外港用地の埋め立てに用いた土砂は、どこから搬入されたものなのか。  
**答** 鹿島港中央航路などの浚渫工事において発生した土砂を搬入している。

**問** 免許面積と竣功面積に誤差が生じているが、その原因は。  
**答** 竣功面積の方が約92平方メートル大きいですが、その原因は測量誤差によるものである。

**問** 周辺工区の今後の工事スケジュールはどうなっているのか。  
**答** 県の担当課からは、まだ決定していないと聞いている。

**要望** 今後の外港整備計画が決定した際には、議会へ詳細な説明を行うようお願いする。

討論はありませんでした。採決の結果、全ての議案について原案のとおり可決すべきであると決定しました。また、請願についても採択するべきであると決定しました。



▲外港公共ふ頭の整備状況

## 総 務 生 活 委 員 会

## 文教厚生委員会

### ト伝の郷運動公園周辺への 飲食施設の整備を

文教厚生委員会では、2件の条例の一部改正のほか、5件の議案と1件の請願を審査をしました。

#### 主な質疑

■議案第38号 鹿嶋市保育所の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例

**問** 保育所の標準時間と短時間とは、何を表しているのか。

**答** 保護者の就労時間などに応じた保育の必要量を示している。

■議案第45号 ト伝の郷多目的球技場人工芝グラウンド改修工事請負契約について

**問** 人工芝と天然芝の維持費の差はどの程度か。

**答** 天然芝は年間100万円程度に対し、人工芝は年間30万円程度である。

■議案第46号 ト伝の郷多目的球技場外構及び照明設備工事請負契約について

**問** 観覧席はどのようにつくるのか。また、多くの大会が開かれている施設だが、周辺に食べ物や飲み物を提供する場所がない。そうした施設についてどのように考えているのか。

**答** 国体等の規模の大きい大会では、必要に応じて飲食店組合との連携により飲食ができるように対応していく。

討論はありませんでした。採決の結果、全ての議案について原案のとおり可決するべきと決定しました。また、請願についても採択するべきであると決定しました。

## 都市経済委員会

### 市営住宅条例・市道の認定 ・下水道施設基本協定を審査

都市経済委員会では、市道路線の認定など、3件の議案を審査しました。

#### 主な質疑

■議案第39号 鹿嶋市営住宅条例の一部を改正する条例

**問** 今回の改正で入居者の新たな負担増はないのか。

**答** 条文を分かりやすく改めたもので、費用負担はこれまでと変わらない。

■議案第43号 市道路線の認定について

**問** 未整備の現況道路を市道認定するのは無理があるのではないか。

**答** この地域は※区域指定エリアで、雨水排水整備の要望もあることから、良好な住環境の整備を優先的に進めたい。

■議案第44号 鹿嶋市公共下水道根幹的施設の改築工事委託に関する基本協定締結について

**問** 下水道の長寿命化支援制度とはどういうものか。

**答** こまめな点検・修繕を行うことにより、施設の長寿命化を図ろうとする国の制度で、一定の補助がある。

討論はありませんでした。採決の結果、全ての議案について原案のとおり可決するべきと決定しました。

※区域指定：市街化を抑制する『市街化調整区域』内において、住宅建築や宅地分譲ができる指定された区域



ここが知りたい!

# 一般質問

一般質問は、  
い事柄について  
掲載した内容  
ムページにある「インターネット中継」または「録音中継」  
をご利用ください。

私たちの生活にかかわりの深  
質問するものです。

の詳細は、鹿嶋市議会のホー  
ムページにある「インターネット中継」または「録音中継」  
をご利用ください。



かわつ とおる  
河津 亨 議員

〔発言時間 = 60分〕

## Q オリンピック誘致活 動、カシマ決定の理 由は

**河津**

前回のワールドカップと  
今回のオリンピック、世  
界中に注目されるような大きな大  
会を開催するわけだが、鹿嶋市と  
鹿嶋市民の盛り上がりには大きな  
温度差があるように感じている。  
鹿嶋市が一丸となって誘致活動し  
たワールドカップと違い、今回の  
オリンピックの誘致活動が市民の  
目に触れていないためと思うが、  
どのような取り組みを行ってきた  
のか。また、カシマサッカースタ  
ジアムに決定した際の評価をどの  
ように認識しているのか。

## A これまでのスタジアムの 実績と復興のシンボルと して評価された

**政策企  
画部長**

東京オリンピックのサッ  
カー会場は、一部の会場  
が他競技との兼ね合いで使用が制  
限される可能性が大きいことか  
ら、平成27年3月に追加募集があ  
り、茨城県、県サッカー協会、鹿  
嶋市、鹿島アントラーズの4者で  
協議し、県サッカー協会を通して  
応募した。また、市長も日本サッ  
カー協会会長に直接会い開催を要  
望するとともに、知事の指導に基  
づいて、一緒になって側面から  
やってきた。評価については、こ  
れまでのカシマサッカースタジア  
ムの実績と東  
日本大震災か  
ら復興を成し  
遂げたシンボ  
ルとして評価  
を得たものと  
認識している。



## Q 開催市として目指す ものは

## A 鹿嶋の復興の姿や魅力を 世界に発信

**市長**

東日本大震災から復興を  
成し遂げた姿を世界に発  
信するとともに神の道ウオークや  
祭頭祭、提灯まち、古武道といっ  
た鹿嶋ならではのお祭りや体験的  
プログラムを通して、鹿嶋の魅力  
を世界に発信していきたい。また、  
心温まる雰囲気の中で訪れる方々  
のおもてなしをし、外国人を含め  
た多くの来訪者を受け入れる環境  
の整備に取り組むことで、スポー  
ツツーリズム、観光などの交流産  
業振興や活力あるまちづくりにつ  
なげていきたい。

**河津**

2002年のワールド  
カップの際、カシマサッ  
カースタジアムは、ボランティア  
の笑顔、スタジアム周辺での各イ  
ベントなど、心あるおもてなしが  
大変高い評価を受けた。開催市と  
して、どのような目標を持って鹿  
嶋らしさを出していくか、市長の  
見解は。

【こんな質問や提案もありました】  
◎海水浴場の観光利用について

**Q** 東京オリンピックピック  
サッカー競技開催に  
向けた交通アクセス  
の改善について

**小池**

高速道路からのアクセス  
として、新神宮橋の拡幅  
と国道51号のスタジアムまでの拡  
幅について、市長は、本年4月10  
日に石井国土交通大臣へ要望書を  
提出したが、具体的な内容を伺う。

**A** 国道51号バイパスの4車  
線供用に最大限の努力を  
していく

**市長**

石井国土交通大臣へ直接  
面会をして、新神宮橋を  
含む国道51号バイパスの4車線化  
の早期実現について要望書を提出  
した。



こいけ こ  
小池 みよ子 議員  
〔発言時間 = 60 分〕

大臣は本市の現状もよく把握し  
ており、今後も着実に推進してい  
くとの力強い回答を得た。今後も、  
あらゆる機会を通じて2020年  
の東京オリンピックの開催までに  
4車線供用できるよう、最大限努  
力していく。

**Q** 鹿島神宮駅へのエレ  
ベーター整備について

**小池**

鹿島神宮駅の現状を見て、  
オリンピックの開催駅が  
エレベーターもない、エスカレー  
ターもないでは済まされないので  
は。また、障がいを持った方も安  
心して利用できるような優しい設  
備の必要性について伺う。

**A** 鹿島神宮駅のバリアフ  
リー化についてJR側に  
要望活動を継続していく

**政策企  
画部長**

鉄道等の駅へのエレベーター  
設置などのバリアフ  
リー化については、平成23年に法  
律の改正があり、その中で、1日  
当たりの平均利用者数が3000  
人以上の駅については平成32年度  
までに整備を進めることになってい  
る。鹿島神宮駅は、1日当たり平  
均利用者が1000人程度にとど  
まっていることや臨時的イベントで  
はなく、日常生活の改善が基本で  
あることなどを理由に、JR側か  
らはバリアフリー化の実施に向け  
た前向きな回答は得られていない。

しかし、今後は、茨城国体や東  
京オリンピックの開催など、多く  
の方が鹿嶋市に訪れることにな  
る。そのことを踏まえ、鹿島サッ  
カースタジアム駅の常時旅客駅化  
とあわせてJR側への要望活動を  
継続していく。

【こんな質問や提案もありました】  
〔国道の管理状況について〕  
〔市バス利用の有料化について〕





うだ かずお  
宇田 一男 議員  
〔発言時間＝60分〕

**Q** 総合計画後期基本計画の特徴と変更点は

**宇田** 第3次鹿嶋市総合計画後期基本計画が策定され、

5年間の鹿嶋市まちづくり指針が示されたが、後期基本計画の特徴及び前期基本計画との変更点について伺う。

**A** 結婚から出産、子育て、教育までの支援を一貫

**市長** 鹿嶋市まち・ひと・しごと創生総合戦略の実施期間であることに加え、国民体育大会や東京オリンピック・パラリンピック競技大会等の大きなイベントが控える5年間であることなど

社会情勢の変化に対応するため、基本構想から刷新し、将来像を「子どもが元気 香る歴史とスポーツ

紡ぐまち 鹿嶋」と定めた。特に、結婚から出産、子育て、教育までの支援を一貫して行い、未来を創るひとづくり・まちづくりを目指していく。さらに国体やオリンピック開催を踏まえ、スポーツの多面的な活用の一環として、他の産業との連携によるスポーツの産業化を新たな施策として打ち出した。そして、これまでの「協働のまちづくり」を一步進めて、「共創のまちづくり」を掲げた。

**Q** 総合計画期間中の財政収支・財政指標の見通しについて

**宇田** 総合計画に示した具体的な事業を進めるにあたり、

財政計画との整合性を図るとして、期間中の財政収支・財政指標の見通しについて伺う。

**A** 本計画を指針として健全な財政運営に取り組む

**政策企画部長** 大幅な歳入増が見込まれる中、社会保障費の増加

など厳しい収支状況が見込まれる。財政指標の見通しは、財政力

指数は0・97～0・98程度。経常収支比率は90％程度。公債費負担比率は11％程度で推移するものと考えている。福祉や教育といった基本的な行政サービスの維持に必要な予算を確保しつつ、まちの活力向上や必要施策を推進していくためにも、本計画を指針として健全な財政運営に取り組んでいく。

**Q** 定住自立圏構想での地域課題は

**宇田** 定住自立圏構想を検討するにあたり広域行政サービスとして取り組むべき地域課題は何か。また、定住自立圏構成市の考え方は。

**A** 地域課題は医療・観光・地域交通・消防・ごみ処理など

**政策企画部長** 広域行政サービスにおける政策課題は、医療・観光・地域公共交通・消防・ごみ処理などが考えられる。広域的な行政運営は必要不可欠と考える。

構成市は、鹿行5市を原則に県境の市との連携も想定される。

**Q** 骨髄・末梢<sup>しよう</sup>血幹細胞  
提供者への助成制度  
の導入を

**池田** 検査や骨髄液採取の際に  
入院・通院によって給与  
が減額してしまうケースもあるこ  
とから、その負担を軽減するため  
の助成制度を導入してはどうか。

**A** 骨髄ドナー助成制度を4  
月にさかのぼり実施

**市長** ドナー登録者の増加と骨  
髄などの移植機会の拡大  
を図り、移植が必要な方を広く公  
平に救うため、また、ドナーの善  
意を無駄にしないため、助成制度  
を本年4月にさかのぼり実施した  
い。

**Q** ポリオの予防接種に  
ついて

**池田** 国のポリオの予防接種の  
制度変更の過渡期に接種  
漏れが生じないよう、自治体での  
細やかな対応が必要と考えるが、  
本市の考えは。



**A** 周知方法について検討

**健康福祉  
社部長** 市では、乳幼児健診や育  
児相談などの機会に個別  
に丁寧な説明と接種状況を確認  
し、接種の勧奨をしている。制度  
変更の過渡期に生まれたお子さん  
については、個別相談などで、で  
きる限りフォローしていくことも  
に、新たな周知方法について検討す  
る。

**Q** 発達障がい<sup>しんりく</sup>の早期発  
見と適切な支援を

**池田** 発達障がい者の適応困難  
不登校や引きこもり、反  
社会的行動等といった二次障がい  
を未然に防止するという観点か  
ら、発達障がいの早期発見と適切  
な支援の実施がとても重要であ  
る。発達障がいの早期発見のため  
の4歳児健診の必要性について伺  
う。

**A** 個々の状況に応じて丁寧  
な支援に努める

**健康福祉  
社部長** 本市では、4歳児健診、  
5歳児健診等については  
実施していないが、発達のおくれ  
が心配されるお子さんの早期発  
見、早期療育のため、1歳6か月  
児健診、3歳2か月児健診の際に  
行う個別相談を初め、定期的な来  
所型個別相談である「心と発達の  
相談」また、保育園や幼稚園など  
を訪問する「移動発達相談」など  
を行っている。相談などを通して、  
発達が心配されるお子さんについ  
ては、総合福祉センターなどで行  
われている療育相談や医療機関へ  
つなげるなど、個々の状況に応じ  
て引き続き丁寧な支援に努めてい  
きたい。



いけだ のりこ  
池田 法子 議員  
〔発言時間 = 45 分〕



ひぐち ふじお  
樋口 富士男 議員  
〔発言時間 = 45 分〕

## Q 被災者支援システムの導入を

**樋口** 被災者の生活再建に向けて必要となる罹災証明書の発行、支援金や義援金の交付、救援物資の管理、仮設住宅の入退去などを一元管理する被災者支援システムの導入について、どのように考えているのか。

## A 県の動向を注視し 総合的な検討を進める

**市民生  
活部長** 本市では、平成28年3月に茨城県が防災科学技術研究所と締結した包括的な連携、協力に関する協定の中で、被災市町村の災害対応を支援するための仕組みづくりの一環として、罹災証明書発行などのシステムの共同整備について検討していくとの方

針が示されていたため、その動向に合わせて被災者支援システムの導入を検討していくこととしていた。現時点でシステムの共同整備に関する最終的な内容が示されていないので、引き続き動向を注視し、本市としても災害発生時における応援体制の構築なども視野に入れ、総合的な検討を進めていきたい。

## Q 不在者投票の公正な執行について

**樋口** 病院や老人ホームなどの不在者投票指定施設に入所、入院されている方であれば、その施設内で不在者投票ができるが、一般の投票所と異なり、施設の管理者が不在者投票管理者となつて立会人、事務補助者各1名を指名し実施されている。施設に従事している人が立会人、事務補助者、投票管理者になることは、適正な管理、公正な選挙の執行という面から問題があるのではないか。



## A 外部立会人制度の周知に努める

**総務  
部長** 施設における不在者投票においては、指定施設などの長が不在者投票管理者となり、不在者投票管理者は、選挙権を有する者の中から、最低一人を立会人として選任する必要がある。施設などの職員が立会人になることも可能だが、施設等の不在者投票管理者には、市の選挙管理委員会が選定した外部立会人を立ち会わせることなど、不在者投票の公正な実施確保の努力義務が課せられている。

市選挙管理委員会としても、公正な選挙執行のため、外部立会人の人材確保の充実を図るとともに、指定施設等において、可能な限り外部の方を立会人として積極的に選任するよう、施設等への周知啓発に努めていきたい。

【こんな質問や提案もありました】  
◎軽自動車の減免について

## Q アレルギー対応給食について

**佐藤** 鹿嶋市としての除去食と代替食の考え方について

伺う。コストの問題なのか、またどういった点を解決すれば導入できるのか。また、設備、調理する人、メニュー作成など多くの問題があるが、どのように考えているのか。



## A 専用調理室の設置を検討

**教育長** 学校給食において全てのアレルギーに対応した食事を提供することは不可能だと考えている。アレルギー対応食を通

常食と同じ空間で調理すると、空



のぶなり さとう  
佐藤 信成 議員

〔発言時間＝40分〕

## Q アレルギーを持つ子どもの学校給食費について

**佐藤** アレルギーにより学校給食を食べられない児童生徒に対して、アレルギーにより食

べられなかった食材分の学校給食費を減免することはできないのか。

## A 9月から学校給食費を

減額できるように準備

**教育長** 既に牛乳アレルギーの子どもについては、牛乳の代金分を減免しているが、新たな取り組みとして、食物アレルギーにより全ての学校給食を食べることができない日が1か月で5日以上ある場合に、学校給食費を減額できるように準備を進めている。あくまでも当面の対応であり、将来的にはアレルギー対応食の調理体制も含めて、でき得る限りの対応をしていく。

## Q 就学支援制度の積極的な情報提供を

**佐藤** 学校給食費の未納状態になっっている家庭に対して、就学支援や生活保護の制度といった情報を周知ではなく、必ず伝えるような対応をとっているのか。

## A 支払相談時に各種支援制度の案内

**教育部長** 滞納が続いている保護者には、支払相談時に世帯

の状況に応じて、各種支援制度の案内を行っている。



やまぐち てつひで  
山口 哲秀 議員  
〔発言時間 = 60分〕

## Q 公共施設の受動喫煙防止対策は

**山** 国際オリンピック委員会  
は、世界保健機関と共同  
で2010年から『たばこのない  
オリンピック』を推進しているが、  
日本の受動喫煙対策は世界でも最  
低レベルだと指摘している。

厚労省のたばこ白書によると、  
喫煙と因果関係のある病気は、が  
んのほかに脳卒中や、心筋梗塞、糖  
尿病などが挙げられ、毎年喫煙に  
より約13万人、受動喫煙だけでも  
約1万5000人が命を落として  
いると推計して  
いる。本市の公  
共施設の受動喫  
煙防止対策の方  
針について尋ね  
る。



## A 受動喫煙ゼロを目指して 取り組みを強化

**市長** 国民体育大会を初めとし  
て、カシマサッカースタ  
ジアムがオリンピック会場に承認  
決定となればなおのこと、市民の  
さらなる健康増進のために受動喫  
煙防止対策の強化を図り、その実  
効性を高める必要性があると認識  
している。また、市内における競  
技会場及び公共の場については、  
今後示される予定の国の方針に基  
づき、受動喫煙による健康影響や  
防止対策等についてさらなる普  
及、啓発を図るとともに、受動喫  
煙ゼロを目指し、取り組みを強化  
していく。

## Q 喫煙率と受動喫煙の 現状と目標値は

**山** 子どもの受動喫煙の被害  
が深刻である。乳幼児突  
然死症候群やぜんそくの発作を誘  
発し、せきやたんなどの呼吸器症  
状や呼吸器機能の発達に悪影響を  
及ぼし、また、子どもの時の受動  
喫煙によって成人後に肺がんにか

かるリスクは2倍以上になるとい  
うデータも示されている。鹿嶋市  
の禁煙率と受動喫煙の目標につい  
て伺う。

## A 成人の喫煙率減と妊婦の 喫煙ゼロを目標

**健康福祉部長** 本市の成人の喫煙率は、  
男性が23・6%、女性が  
12・7%となっている。県の数値  
と比較すると男性は低く、女性は  
高いという状況にある。本市では、  
受動喫煙に関する目標値は定めて  
いないが、第二次健康かしま21に  
おいて、「成人の喫煙率」の減少  
や「妊婦の喫煙をなくすこと」を  
目標としている。対策としては、  
あらゆる保健事業の場での教育と  
情報提供、また循環器検診、特定  
健診などの検診結果を活用した、  
禁煙に対する支援治療に関する個  
別指導を行っている。

【こんな質問や提案もありました】  
◎学校施設の安全対策について



かわい ひろこ  
川井 宏子 議員  
〔発言時間 = 60 分〕

## Q 生活困窮世帯への 就学援助は

**川井** 受けた教育が子供たちの将来の就労収入に直結するるのであれば、教育に格差があつてはならない。生活困窮世帯への就学援助について尋ねる。

## A 新入学用品費の 入学前支給を検討

**教育  
部長** 本年度から、国の要保護児童生徒援助費補助金における新入学用品費の予算単価が前年度比で約2倍になったため、本市においても、就学援助費の新入学用品費を国に準じた額とした。また、新入学用品費は現在、入学後の7月に支給しているが、入学準備のときに受け取れるよう、入学前支給について検討していきたい。

## Q 部活費の助成は可能か

**川井** お金がないから部活ができないということにならないよう、要保護、準要保護児童へ部活動費を助成することはできないのか。

## A 他の市町村を調査研究する

**教育  
部長** 本市では、通常の活動経費に対する助成は行っていないが、援助している市町村もある。部活動によって必要とする経費が異なることから、どのような制度設計をしているのか調査研究をしていきたい。

## Q 児童扶養手当の 支給回数見直しを

**川井** 4か月に1度支給されている児童扶養手当を毎月支給または隔月支給にすることはできないのか。

## A 国の動向を見ながら 速やかに対応

**健康福  
祉部長** 支給は児童扶養手当法に基づいて行っている。ただ

## Q ※子ども食堂の検討を

**川井** 社会福祉協議会でフードバンクが始まったが、本市でも子ども食堂や学習支援などの取り組みを展開できないのか。

## A 早期実現に向け検討

**健康福  
祉部長** 学習支援については、社会福祉協議会でボランティアア団体と5月に協議を開始したところである。他の自治体では学習支援と子ども食堂を提携して行っているところもあることから、関係機関と連携しながら、早期の実現に向け検討を進めていきたい。

【こんな質問や提案もありました】  
①テロ等準備罪について  
②憲法改正について



しゅつとう かつあき  
出頭 克明 議員  
〔発言時間＝30分〕

**Q 大相撲巡業  
20年振りの開催を**

**出頭** 前回、本市で大相撲巡業が開催されてから20年が経過している。再び本市で大相撲巡業の開催を願う市民も多いと思うが、市長の見解は。

**A 本市での開催の可能性を検討**

**市長** 巡業を興行として成功させるためには、多くの個人、企業等の協賛や支援が必要である。近年開催された市町村の実績などを調査するとともに、関係機関や企業などと協議しながら、本市での開催の可能性について検討していきたい。

**Q 民間委託による  
経費削減の効果は**

**出頭** 本市の学校給食を民間委託に切り替えてから10年が経過する。経費削減の効果はどれくらい出ているのか。

**A 民間委託前を100  
とすると現在は71**

**教育長** 民間委託前は、大野地区の小学校給食調理員及び給食センターの調理員の人件費、また、給食センターから各学校への給食配送に係る委託料、あわせて1億3600万円だった。一方、平成28年度の委託料は、9720万円。年齢加算による人件費の上昇分、物価指数などを加味すると、その差はさらに大きくなるかと考えている。

**Q 給食の提供体制に  
問題はないのか**

**出頭** 学校給食を民間委託する上で最も重要なことは、給食の質や提供の継続性である。今日までに継続性が損なわれるよ

うな問題が発生したことがなかったのか尋ねる。

**A 履行保証人を要件に追加し  
提供の継続性を担保**

**教育長** これまで継続性が損なわれるような大きな問題は発生していない。安全安心な食の提供については、市の管理栄養士が食材の選定や調理にかかわることにより給食の質を確保している。提供の継続性については、本年度の契約より契約内容に履行保証人の要件を加えたことにより、提供の継続性が担保されたと考えている。今後も民間への業務委託という形態を継続し、鹿嶋っ子の健全な成長に寄与する学校給食を推進していきたい。



## Q 地籍調査の効果と 本市の進捗状況は

**栗林**

長く土地政策を支えてきた伝統的な情報基盤である地籍調査の効果と、本市が実施している地籍調査の進捗状況を伺う。

## A 土地に関する情報が正確に確認できる

**経済振興部長**

地籍調査を実施することによって、一筆ごとの結果が数値データにより記録、保存されることから、境界の確認や境界復元など、その土地に関する情報が正確に確認できるようになり、土地境界をめぐるトラブルの未然防止を始め、土地有効活用の促進、災害による土地の形状が変更した際の復旧活動の迅速化、課税の適正

化などが主な効果として挙げられる。また進捗率は、14%となっている。測量技術の革新が進んでいることから、できる限り調査地区を増やしながら事業の進捗率を高めていきたい。

## Q 地籍調査に要する費用負担と進まない要因は

**栗林**

地籍調査に要する費用負担と調査が進まない要因について尋ねる。

## A 昔の図面の不正確さや土地の複雑な権利関係が障害

**経済振興部長**

調査に係る土地所有者の会いや閲覧時の交通費などは、土地所有者に負担を求めている。調査が進まない要因は、法務局に備え付けられている図面が現状と大きく異なることもあり、境界確認作業に時間を要することや、土地の権利調査等に困難を伴うケースが数多くみられることなどが挙げられる。

## Q 不法投棄の現状と 防止策について

**栗林**

ごみの不法投棄は立派な犯罪である。人通りの少ない山道や人けのない傾斜地などに常習的に投棄されているように思われるが、不法投棄の現状や防止策をどのように考えているのか。

## A 本市の不法投棄対策に 一定の効果

**市民生活部長**

本市では、環境サポーターによるパトロールの実施、不法投棄防止看板の貸し出し、監視カメラの設置などの対策を通じ、不法投棄の未然防止、早期解決に取り組んでいる。不法投棄の認知件数については、平成20年度当時には、年間300件を超えていたものが、平成28年度には、199件と着実に減少傾向にあり、本市の不法投棄対策が一定の効果を上げているものと考えている。



くりばやし きょうこ  
栗林 京子 議員  
〔発言時間 = 60 分〕





すがや つよし 議員  
菅谷 毅  
〔発言時間 = 45 分〕

## Q 小児救急医療と 認知症予防の充実を

**菅谷**

「子育てするなら鹿嶋市で」というキャッチフレーズに見合う小児救急医療体制を整えるべきと考える。さらに、高齢化社会に備えて、認知症予防の対策は準備しているのか。

## A 機能分担による小児救急医療強化と認知症初期集中支援チームの設置を目指す

**健康福祉部長**

本市では、鹿島医師会協力のもと、現在365日、診療及び院内処方を実施している。平成26年からは神栖済生会病院が小児救急医療の拠点病院となり、常勤医師も複数定着し、365日、24時間体制で小児救急

## Q フードバンク事業の 進捗状況は

**菅谷**

昨年的一般質問で提案したフードバンク事業を社会福祉協議会で進めると聞いたが、今後の運用について尋ねる。また、ボランティアなどの市民参加を図りながら、裾野を広げる工夫が必要と考えるが、市の見解は。

## A 4月から※フードバンク事業を開始

**市長**

去る4月21日、社会福祉協議会において、NPO法人フードバンク茨城と確認書を締結し、フードバンク事業をスタートした。開設後1か月で7人の利用があり、有効な支援につながる事ができたと受け止めている。

**健康福祉部長**

社会福祉協議会では、フードバンクの充実に向けて公共施設などに「きずなBOX」を設置し、市内の家庭で眠っている缶詰やレトルト食品を寄贈してもらった取り組みを検討している。まずは、社会福祉協議会に試験的に設置し、事業の課題と検証、効果等を見ながら、そのほかの公共施設への設置をしていく。

※フードバンクとは、品質上は問題なく安心して食べられるにもかかわらず、規格外、包装ミスなどの理由で廃棄されてしまう食品（食品ロス）を、企業や農業関係者から提供を受け、生活困窮者や福祉施設などに食品を必要としているところに寄贈する活動を行う団体です。

【こんな質問や提案もありました】

①在宅医療の充実

②働き方改革について

## Q 送付文書

### 誤配対策について

**立原**

送付文書等の誤配がある  
と市民が困ってしまう。  
本市の対策について尋ねる。

**A** 住所氏名に誤りがないよ  
うに正確かつ適正に事務  
を遂行

**健康福祉部長**

健康福祉部の所管では、  
市民に対して郵送してい  
る文書は、年間で約15万7000  
通あり、その中でも特に重要なも  
の、例えば国民健康保険証は、配  
達したことが記録される特定記録  
郵便で送付している。

昨年、市から文書が届かないな  
ど、文書発送に関わる問い合わせ  
は約300件あり、その多くは、



立原 ひろいち 議員

〔発言時間=90分〕

## Q 法改正後、介護保険料3割負担となる人数は

住所変更などで市に戻ってきたものだが、戻ってきた郵便物は、改めて郵送、または、直接手渡ししている。状況によっては、郵便局に確認し、郵便記録の情報等を可能な限り把握しながら、ケースごとに対応している。引き続き、正確かつ適正に事務を進めていく。

**立原**

来年、介護保険の利用料の一部負担が2割から3割になることが決まっているが、法改正後、鹿嶋市で3割負担となる人数は。

**A** 現役並みの所得のある  
利用者が対象

**健康福祉部長**

今回の改正は、高齢者の自立支援と要介護状態の重症化防止、地域ケアシステムの強化とともに、介護保険制度の持続する可能性を確保し、サービスを必要とする方に必要なサービスが提供されるようにすることを目的としている。現役並みの所得の

ある利用者の負担割合を見直し、世代間、世代内の公平性を確保しつつ、制度の持続性を高める観点から、3割負担になる対象を2割負担者のうち特に所得の高い層とした。

国の試算では利用者の3%程度と言われているが、平成29年5月の介護サービスの利用状況をベースに本市で試算すると、被保険者1万9538人のうち、実際に介護サービスを利用しているのは2101人。その中で現在2割の自己負担をしている144人で、そのうち制度改正により3割負担になる方は約60人と見込まれ、国の試算と大きな誤差はない。



【こんな質問や提案もありました】  
◎ 地方公務員法改正について  
◎ 教育勅語の問題について

# きかせて！ あなたの夢



中野西小学校 6年  
おおかわ ひとむ 大川 一 夢さん

夢は「教師」か「デザイナー」になること。特に一番の夢である「教師」になりたいです。小学2年生と5年の時に担任してくれた先生との出会いは大きく、テストの採点の手伝いをしたり、友だちに勉強を教えてあげたりすることがとても楽しかったからです。

趣味は、読書。ノンフィクションの小説が好きで読んでいます。最近面白かった本は、

『君の臍臓をたべたい』です。

びっくりするようなタイトルですが、恋愛小説なんです。運動も好きで、なわとびの「二重跳び」や「はやぶさ」が得意です。また、幼稚園の頃から水泳をやっているので、中学校に進学しても水泳を続けていくつもりです。

笑顔の最高な12歳。彼ならたくさんの夢を叶えられます。頑張れ！

(樋口・川井)

## 議 会 TOPICS

### 永年勤続議員表彰を受賞

飯塚俊雄議員（議員在職25年以上）が全国市議会議長会および茨城県市議会議長会から、また、西塚保男議員（議員在職10年以上）が、全国市議会議長会から、永年にわたり地方自治の発展と市政の振興に貢献した功績により表彰を受けました。

左の写真は、6月定例会開会日の冒頭に、表彰状の伝達式が行われたものです。



▲写真左から飯塚議員、池田議長、西塚議員

### <広報広聴委員会>

委員長	小池 みよ子
副委員長	樋口 富士男
委員	河津 亨
委員	佐藤 信成
委員	栗林 京子
委員	菅谷 毅
委員	川井 宏子
委員	小松崎 敏紀

### 編集後記

小松崎 敏紀

今回は、鹿嶋陸上クラブを訪ねさせていただきました。清々しい青空の下、青々とした芝生の上で、子どもたちがまとうオレンジのユニフォームが映え、一人ひとりが生き生きと一生懸命に走る姿や時折見せる笑顔は、見ている私たちも本当に気持ちが良い、元気が湧いてきました。将来、この子どもたちの中から世界で活躍できるような選手が生まれることを大いに期待します。

次号の「とびら」は、平成29年11月1日発行予定です。